

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

2022年6月
みずほ銀行(中国)有限公司
中国アドバイザー一部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(2022年5月)

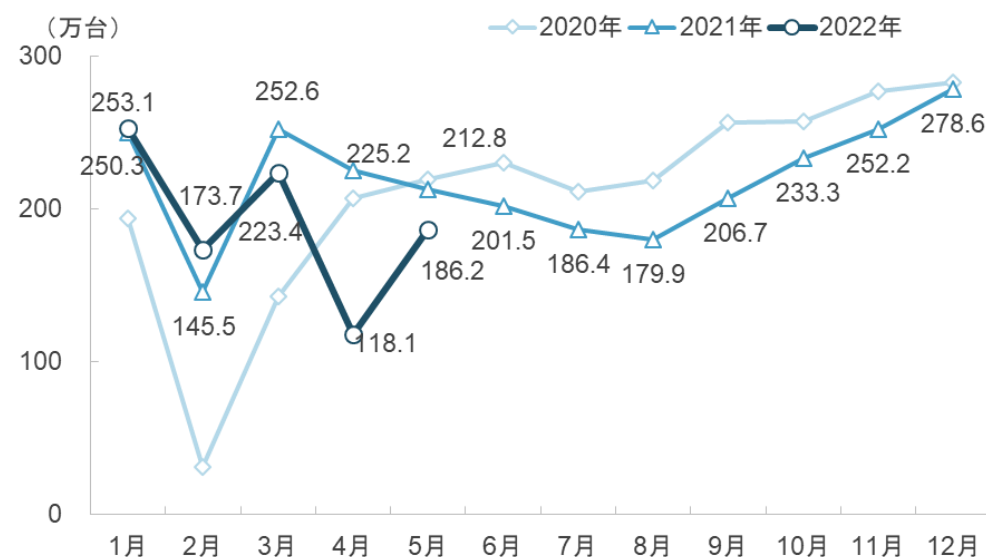
1 自動車販売台数	
1.1 自動車販売台数	2
1.2 乗用車市場	3-4
1.3 高級車市場	5
1.4 日系三強	6
1.5 NEV	7-8
2 在庫	9
3 新たに発売されたモデル	10
4 業界動向	11
5 中古車市場	12
6 購入刺激策	13

1.1 自動車販売台数

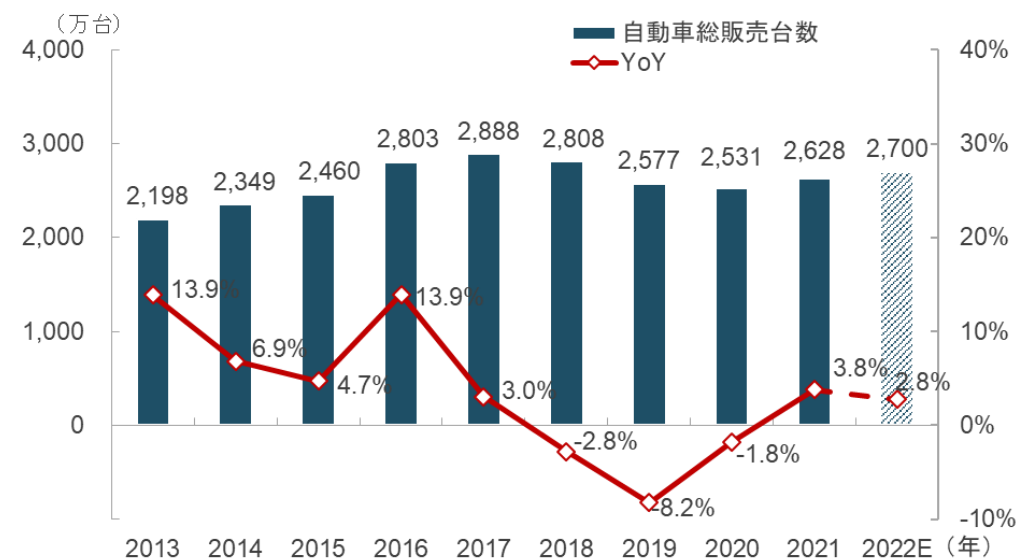
【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **自動車生産・販売台数**:5月に入り、上海を除く都市ではCovid-19が収束、自動車生産・販売台数は徐々に回復しつつある。2022年5月、中国自動車生産台数は前年同月比5.7%減、前月比59.7%増の192.6万台、販売台数は前年同月比12.6%減、前月比57.6%増の186.2万台。1-5月の累計販売台数は前年同期比12.6%減の955.5万台。
 - ✓ 乗用車:5月の販売台数は前年同月比1.4%減、前月比68.2%増の162.3万台、1-5月累計は前年同期比3.6%減の813.3万台。
 - ✓ 商用車:5月の販売台数は前年同月比50.5%減、前月比10.4%増の23.9万台、1-5月累計は前年同期比41.9%減の142.1万台。
- **輸出**:5月、完成車メーカー輸出台数は前年同月比62.3%増、前月比73%増の24.5万台。うち乗用車は前年同月比69.7%増の19.6万台、商用車は同38.2%増の4.9万台。1-5月累計は前年同期比44.7%増の96.9万台。
- **2022年販売台数**:5月末、中央、地方政府は、乗用車の購入税減免、農村へのNEV普及、購入補助金等、様々な自動車購入促進策を公布。またメーカー各社も購入税の補助などの販促活動を行っており、これら相乗効果により、2022年度の販売台数はプラス成長を維持できると見られている。

中国自動車月次販売台数(2020-2022)



中国自動車歴年販売台数(2013-2022)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **5月の小売台数**: 2022年5月、中国乗用車市場情報協会の発表した乗用車小売台数は前年同月比16.9%減の135.4万台、うちTop15社の合計は前年同月比20.6%減、下げ幅は縮小している。長春ではCovid-19が収束、一汽VWの生産・販売が回復、トップに返り咲いた。BYDは引き続き大幅な伸び(+159.5%)、その他前年同月比プラスとなったのは奇瑞汽車(+21.4%)と広汽乗用車(+43.1%)。
- **1-5月累計販売台数**: 乗用車企業Top15のうち、プラス成長となったのはBYD、広汽トヨタ、奇瑞汽車の3社。大幅に下げたのは上汽VW(▲32.5%)と上汽GM(▲35.4%)。

乗用車メーカー小売台数Top15

No.	メーカー	2021.5 (万台)	2022.5 (万台)	2022.5 (万台)	
				前年同月比	市場シェア
1	一汽VW	16.77	15.00	-10.6%	11.1%
2	BYD	4.38	11.38	159.5%	8.4%
3	吉利汽車	8.58	7.33	-14.5%	5.4%
4	長安汽車	8.81	7.27	-17.5%	5.4%
5	広汽トヨタ	7.23	7.00	-3.1%	5.2%
6	上汽VW	11.96	7.00	-41.5%	5.2%
7	上汽GM	12.22	6.50	-46.8%	4.8%
8	一汽トヨタ	7.41	6.23	-15.9%	4.6%
9	東風日産	8.84	5.55	-37.3%	4.1%
10	長城汽車	6.06	5.42	-10.6%	4.0%
11	広汽ホンダ	6.27	5.27	-15.9%	3.9%
12	奇瑞汽車	4.26	5.17	21.4%	3.8%
13	華晨BMW	6.39	5.11	-19.9%	3.8%
14	上汽GM五菱	7.46	5.11	-31.5%	3.8%
15	広汽乗用車	3.25	4.65	43.1%	3.4%
Top15 合計		130.89	103.99	-20.6%	76.8%

No.	メーカー	2021.1-5 (万台)	2022.1-5 (万台)	2022.1-5 (万台)	
				前年同期比	市場シェア
1	一汽VW	88.66	65.29	-26.4%	8.9%
2	BYD	18.94	50.59	167.1%	6.9%
3	長安汽車	53.42	45.15	-15.5%	6.2%
4	吉利汽車	48.37	42.25	-12.7%	5.8%
5	上汽VW	61.93	41.80	-32.5%	5.7%
6	上汽GM	58.55	37.82	-35.4%	5.2%
7	広汽トヨタ	34.91	36.29	4.0%	5.0%
8	東風日産	47.94	35.35	-26.3%	4.8%
9	上汽GM五菱	40.15	31.01	-22.8%	4.2%
10	長城汽車	38.76	30.93	-20.2%	4.2%
11	広汽ホンダ	30.75	28.18	-8.4%	3.9%
12	一汽トヨタ	33.45	25.89	-22.6%	3.5%
13	東風ホンダ	36.14	25.77	-28.7%	3.5%
14	華晨BMW	30.05	25.19	-16.2%	3.4%
15	奇瑞汽車	21.96	24.33	10.8%	3.3%
Top15 合計		643.98	545.84	-15.2%	74.6%

出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

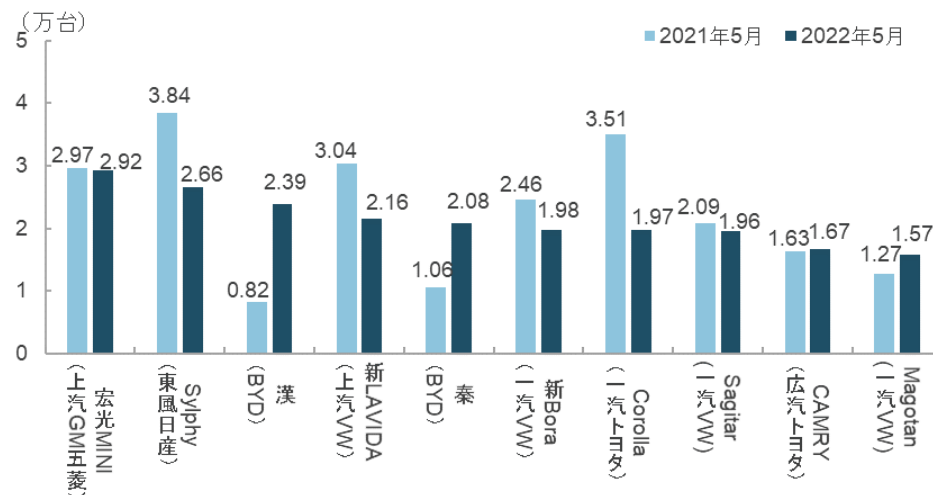
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

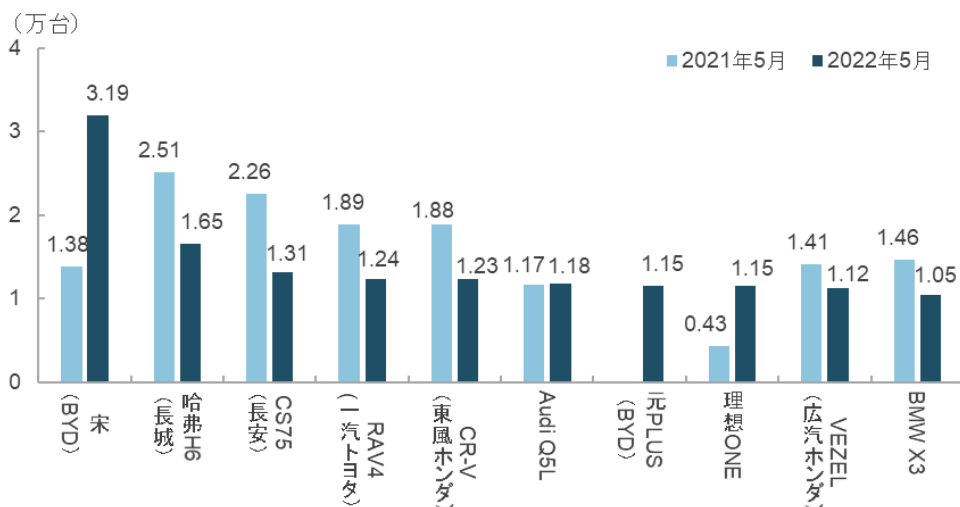
■ 乗用車タイプ別Top10:

- ✓ **セダン**: 2022年5月、宏光MINIがSylphyを抜きトップに。Sylphyは前年同月比30.7%減で第2位、次いでBYD漢は同2.92倍となった。Top10の合計販売台数は21.36万台、CR10は30.4%。
- ✓ **SUV**: BYD宋が前年同月比2.31倍でトップ。哈弗H6は前月に続きマイナス。理想ONEが同2.67倍で第8位に入っている。CR10は24.0%。
- ✓ **MPV**: 五菱宏光がGL8を抜きトップ。トヨタSIENNAが6,574台で第3位に入った。CR10は71.9%。

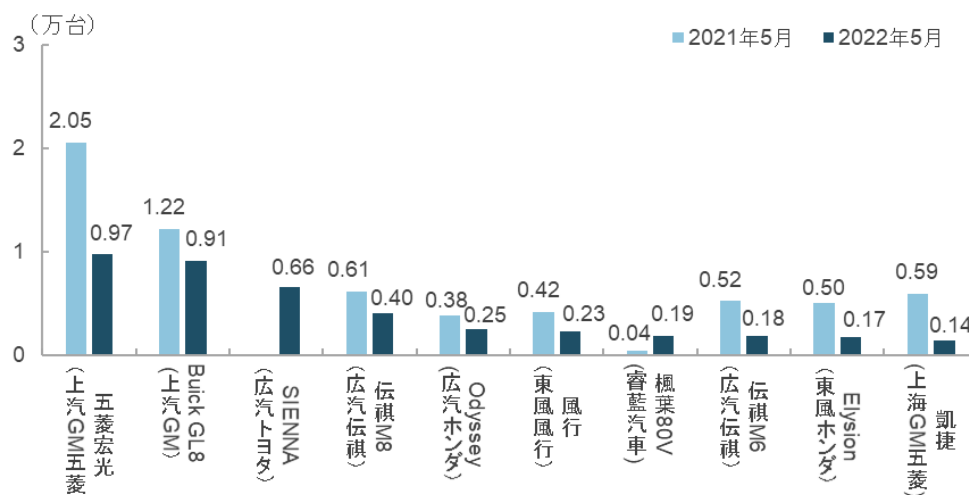
セダン販売台数Top10 (2022年5月)



SUV販売台数Top10 (2022年5月)



MPV販売台数Top10 (2022年5月)



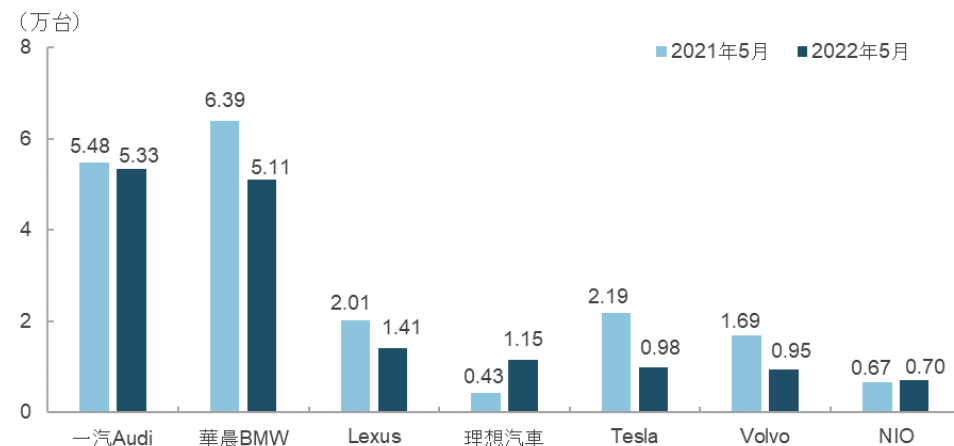
出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

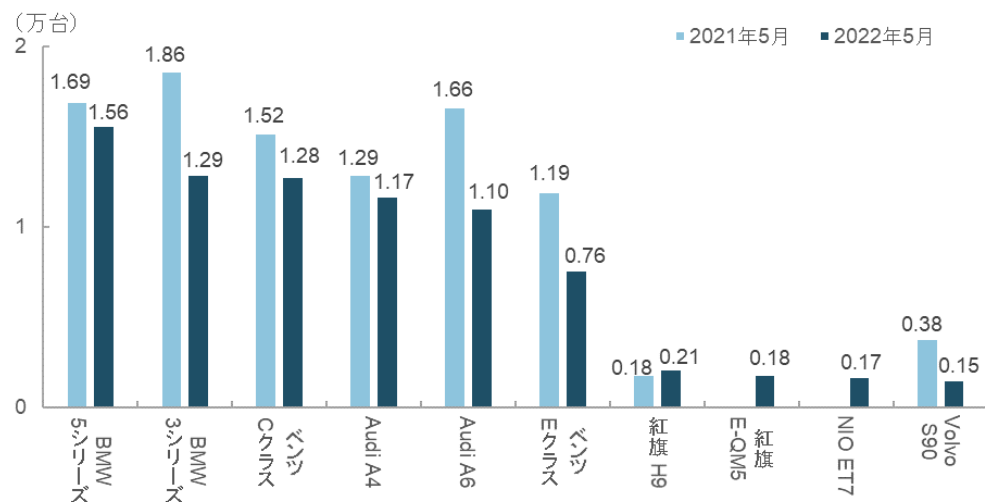
【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **高級車市場**: 2022年5月、国産高級車の小売台数は前年同月比29%減、前月比52%増の18万台。5月に入り、吉林と上海では段階的に工場の再開が進み、一汽AudiやTeslaの生産・販売も回復しつつある。
- **タイプ別**:
 - ✓ セダン: 紅旗H9が小幅増となった他は軒並み前年同月比減。特にBMW 3シリーズとAudi A6の下げ幅が大きい。
 - ✓ SUV: Audi Q5Lと理想ONEが伸びた他は軒並み前年同月比減。理想ONEは同2.67倍となり第2位に入っている。

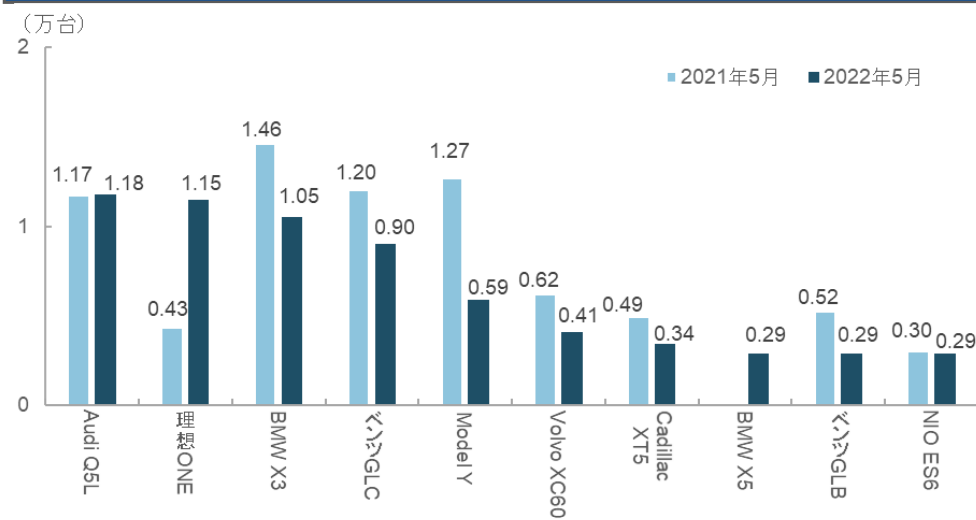
高級車メーカー販売台数（一部、2022年5月）



高級セダン販売台数Top10（2022年5月）



高級SUV販売台数Top10（2022年5月）



備考: 高級車とは指導販売価格30万元以上を指す

出所: 新浪汽车、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

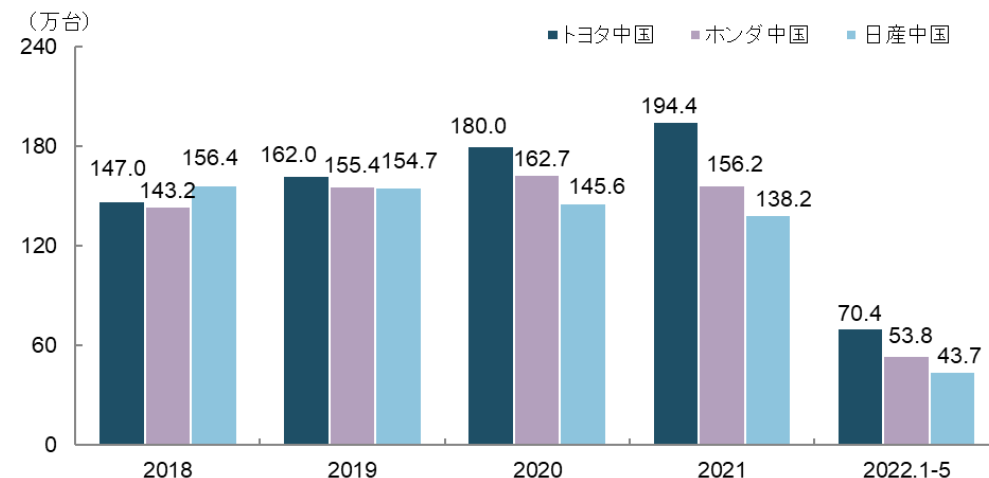
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

■ 日系三強: Covid-19の影響や、部品不足などを受け、2022年5月の日系メーカー販売台数は軒並み減となった。

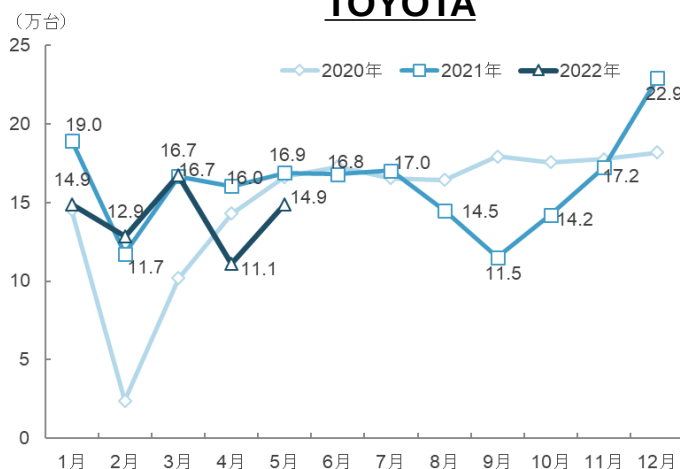
- ✓ トヨタ中国の5月販売台数は前年同月比12.1%減の14.85万台。うち広汽トヨタは同3.1%減の7万台。5月1日より段階的に工場を再開している一汽トヨタの販売台数は同15.9%減の6.2万台。
- ✓ ホンダ中国の5月販売台数は前年同月比30.8%減の8.91万台、うち広汽ホンダは5.27万台、東風ホンダは3.64万台。ホンダ中国の1-5月累計販売台数は前年同期比19.5%減の53.81万台。
- ✓ 日産中国の5月販売台数は前年同月比38.1%減の6.88万台、各モデルともに減。1-5月累計販売台数は前年同期比26.2%減の43.70万台。

日系三強の販売台数(2018~2022)

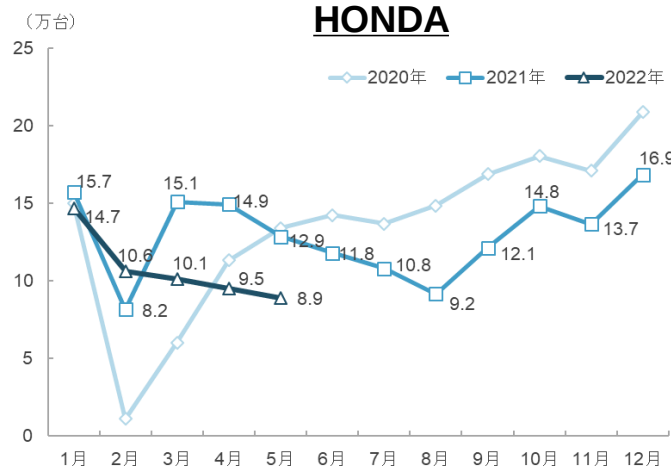


日系三強月次販売台数(2020-2022年)

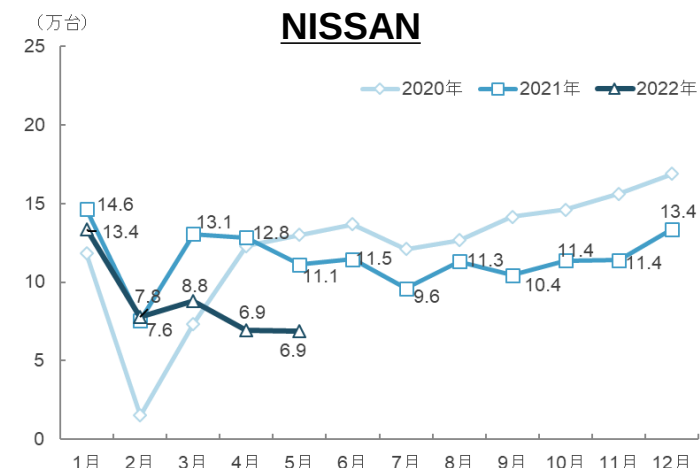
TOYOTA



HONDA



NISSAN



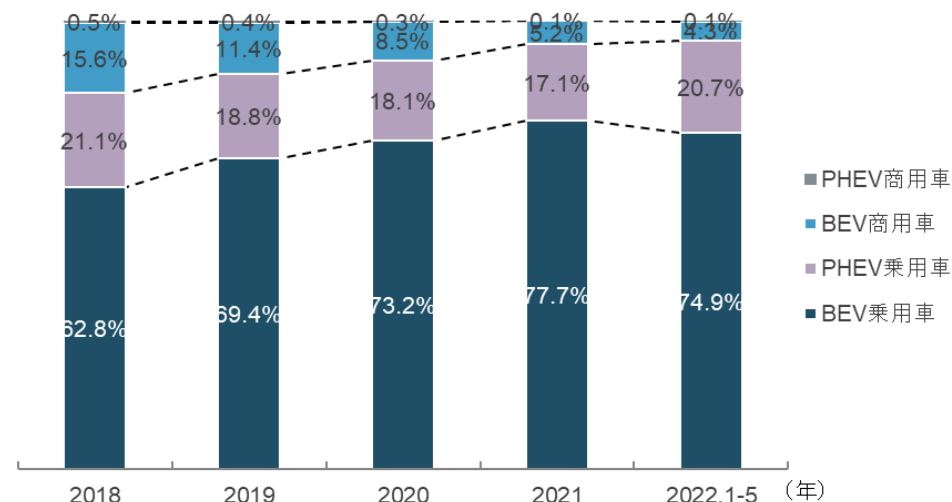
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV①

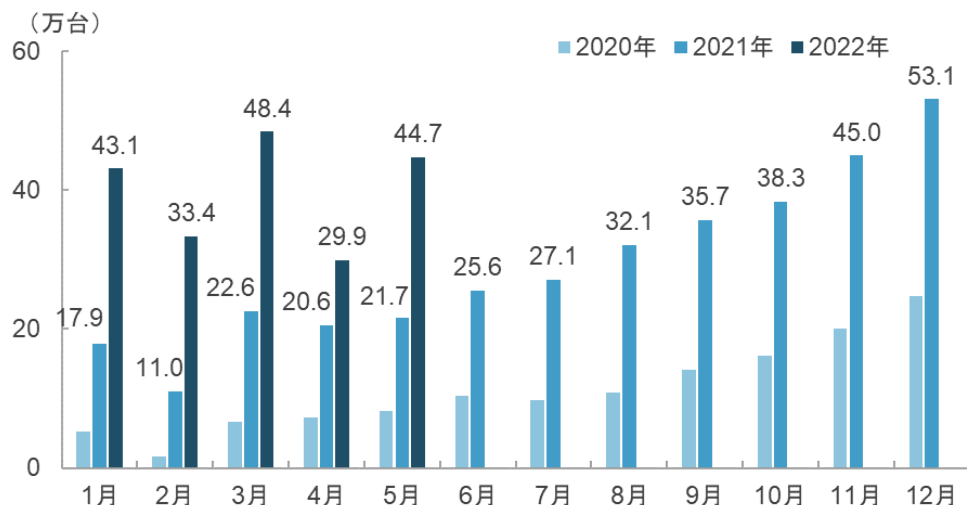
【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **高成長を維持**: 2022年5月、中国のNEV販売台数は前年同月比2.1倍の44.7万台、うちBEVは同93.9%増の34.7万台、PHEVは2.6倍の10万台。1-5月のNEV累計販売台数は前年同期比2.1倍の200.3万台、FCVは同4.5倍の935台。
- **タイプ別構成比**: 1-5月の販売台数ではBEV乗用車が74.9%と最大、2021年末比では2.8pt縮小している。PHEV乗用車は同3.6pt拡大の20.7%。
- **新車販売台数におけるNEV構成比**: 5月の新車販売台数におけるNEV率は24.0%、乗用車だけで見ると26.3%、前月比では小幅縮小している。

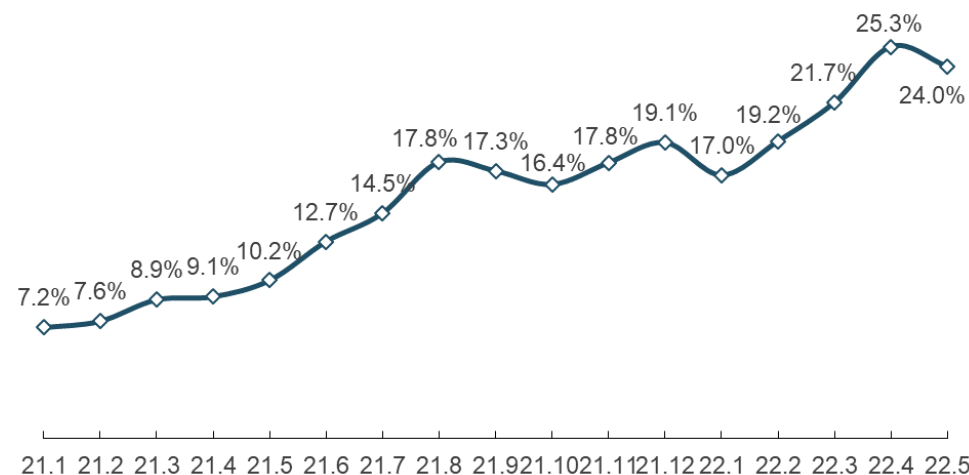
NEV販売台数構成(2018-2022)



中国NEV月度販売台数(2020-2022)



新車販売台数に占めるNEV構成比2021-2022)



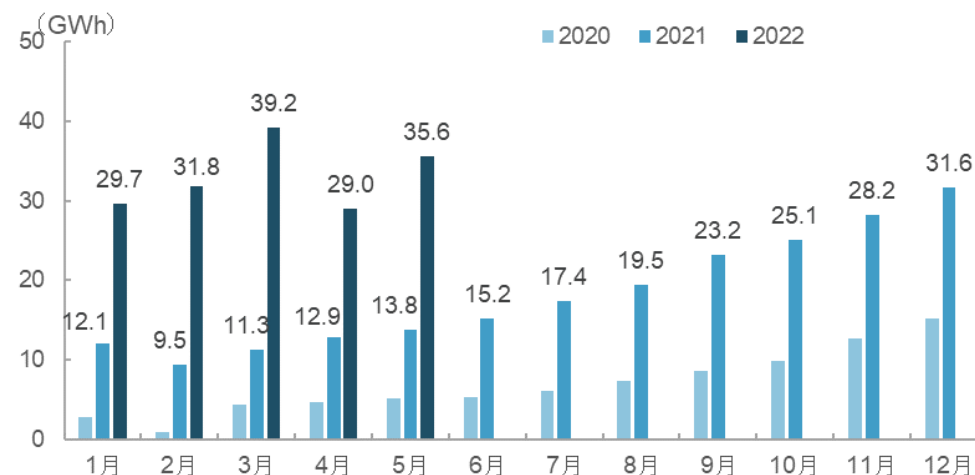
出所: 中国汽車工業協会、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV②

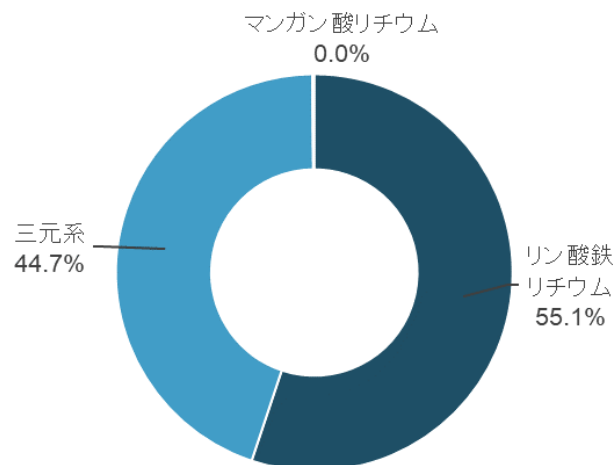
【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **動力電池**:2022年5月、中国動力電池搭載量は前年同月比90.3%、前月比39.9%増の18.6GWh。うち、リン酸鉄リチウム電池は前月比小幅低下の55.1%。1-5月の累計搭載量は前年同期比100.8%増の83.1GWh。
- ✓ **生産量**:5月の動力電池生産量は前年同月比157.9%増、前月比22.8%増の35.6GWh。うちリン酸鉄リチウムは19.2GWhと総生産量の54.1%となった。三元系は16.3GWhで同45.8%、構成比は小幅回復した。
- ✓ **Top10**:5月は37社の電池が搭載、うちTop10社の搭載量は17.4GWh、CR10は93.9%。うちCATLのシェアは前月比7.5pt上昇の45.8%。

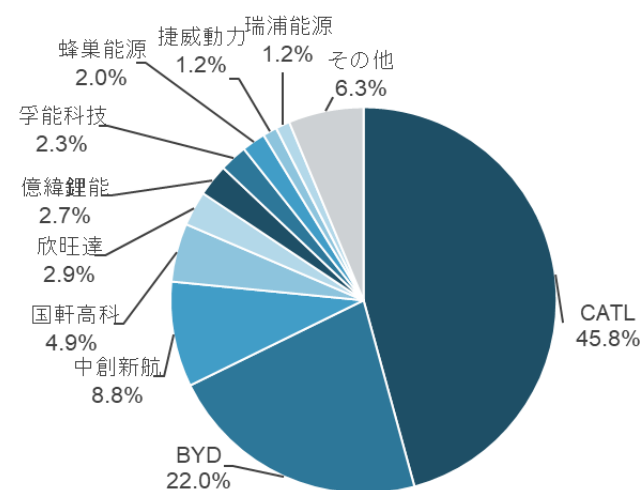
動力電池搭載量(2020-2022年)



動力電池搭載量構成比(2022年5月)



動力電池搭載量Top10(2022年5月)



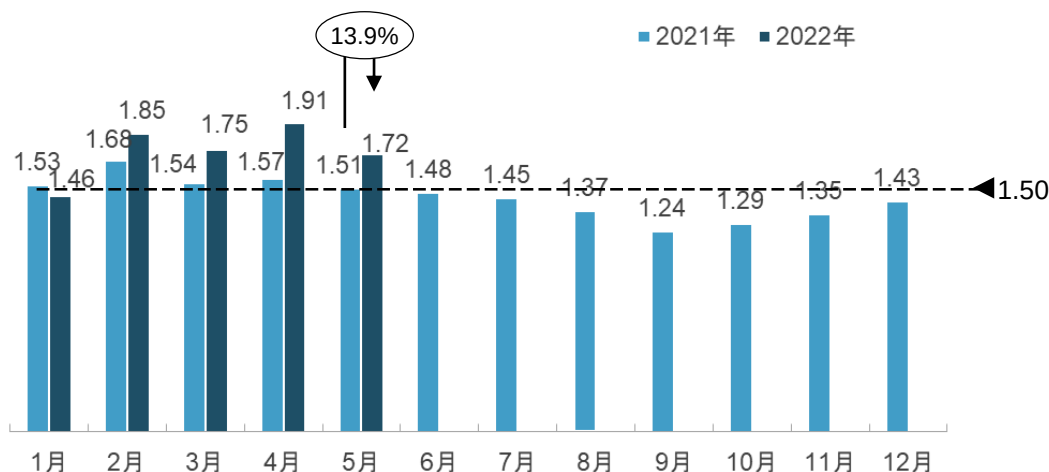
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫動向

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

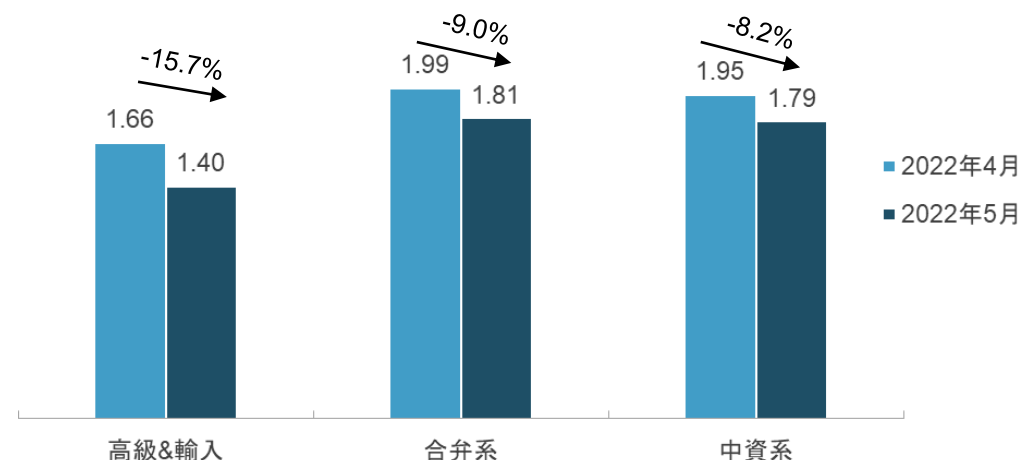
- **在庫係数**: 2022年5月の自動車ディーラー在庫係数は前年同月比13.9%上昇、前月比9.9%減の1.72。5月はCovid-19が徐々に抑制され、ディーラー店舗も再開、販売台数が回復し始めたことで一部ディーラーの在庫も消化が進んだ。一方、一部エリアでは販売の再開が遅れたことで、前月比ではやや低下したものの在庫レベルは警戒ライン上となった。
- **ブランド別**: 5月は上海以外の都市では対外的な販売が回復、在庫係数は軒並み低下した。高級&輸入は前月比15.7%減の1.40、合弁系は同9.0%減の1.81、中資系は同8.2%減の1.79。
- **6月の予測**: 中央及び地方政府による、減税や農村普及、購入制限の緩和や補助金などの様々な購入刺激策に合わせ、完成車メーカーも積極的に補助金を打ち出していることから、販売促進効果が期待され、ディーラー在庫係数も小幅上昇となる見通し。

ディーラー在庫係数(2021-2022)



説明: 中国汽流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン。

ブランド別在庫係数(2022.4~5)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

3 新たに発売されたモデル(5月11日-6月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

No.	日期	モデル	販売価格(万元)	タイプ	排気量	航続距離	メーカー
1	5.13	睿藍X3 PRO	4.99-6.79	SUV	1.5L	-	睿藍汽車
2	5.18	無界PRO	7.99-10.19(補助金後)	ミニ	-	310km、408km	奇瑞新能源
3	5.18	瑞虎8 PRO	12.69-17.19	SUV	1.6T、2.0T	-	奇瑞汽車
4	5.20	AudiQ4 e-tron	33.70-38.25	SUV	-	605km	一汽VW
5	5.20	凌宝uni	3.88-4.98	ミニ	-	140km、201km	吉麦新能源
6	5.31	Modern in	13.98-19.98(補助金後)	SUV	-	420km、610km	北京汽車工場による OEM
7	6.6	smart精霊1	18.16-22.66(補助金後)	SUV	-	535km、560km	智馬達汽車
8	6.6	LYRIQ鋭歌	43.97-47.97	SUV	-	653km、600km	上汽GM
9	6.10	長安Lumin	4.89-6.39(補助金後)	ミニ	-	155km、210km 301km	長安汽車
10	6.10	風光380	5.38-6.08	MPV	1.5L	-	東風小康

出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(5月11日-6月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

No.	企業	主な動向
1	吉利商用車	5月17日、吉利商用車集団は金融会社5社と100億元の戦略的提携を発表、商用車産業において炭素排出ピークアウトとカーボンニュートラルの実現を推進する。
2	捷氢科技	5月20日、上汽集団は2021年株主総会を実施、傘下の捷氢科技を分離し、科創板に上場させることを可決。
3	NIO	5月20日、シンガポール証券取引所メインボードに上場(証券コードはNIO)、NIOは3市場に重複上場する世界初の完成車メーカーとなった。
4	日本電産	5月23日、日本電産は浙江省にEVモーターの旗艦工場を設置することを発表。生産能力は100万台/年を予定、2022年10月に着工、2023年10月に稼働。
5	BMW 華友循環	5月25日、BMWは華友循環と再度提携、動力電池材料のクローズドループリサイクルとカスケード利用のイノベーションモデルを立ち上げる。
6	金龍客車	5月26日、金龍客車と東方鍋炉は、水素燃料電池製品のモデル応用とFCVの「車両・充填ステーション一体化」プラットフォームを共同推進する。
7	長征汽車	5月27日、長城汽車傘下の商用車ブランド「長征汽車」は『新エネ宣言』を発表。6月5日よりICVの生産を全面的に停止、FCVやBEV等クリーンエネルギーにシフトする。
8	華友鈷業	5月30日、華友鈷業は公告にて、持株子会社の「巴莫科技」が2.75億元にて韓国LG化学傘下の両極材メーカーLGBCMの普通株1,028.12万株を取得することを発表。譲渡完了後、巴莫科技の持分比率は49%、残りの51%はLG化学は保有する。
9	哪吒汽車	5月30日、哪吒汽車は自社開発した「天工電池」を発表。超低熱伝導の「航空宇宙」級のアロゲルを熱抵抗材に採用。6月より予約販売を行う「哪吒S」に搭載する。
10	三菱化学	5月30日、三菱化学は公告にて、中国BEV用リチウムイオン電池負極材を増産することを発表。青島工場の生産能力を1.2万トン/年に増強する。
11	威馬汽車	6月1日、威馬汽車は香港証券取引所にIPOを申請。「蔚小理」に続き、香港市場に上場する新興NEVメーカーとなる。海通国際、招銀国際及び中銀国際が推薦人。

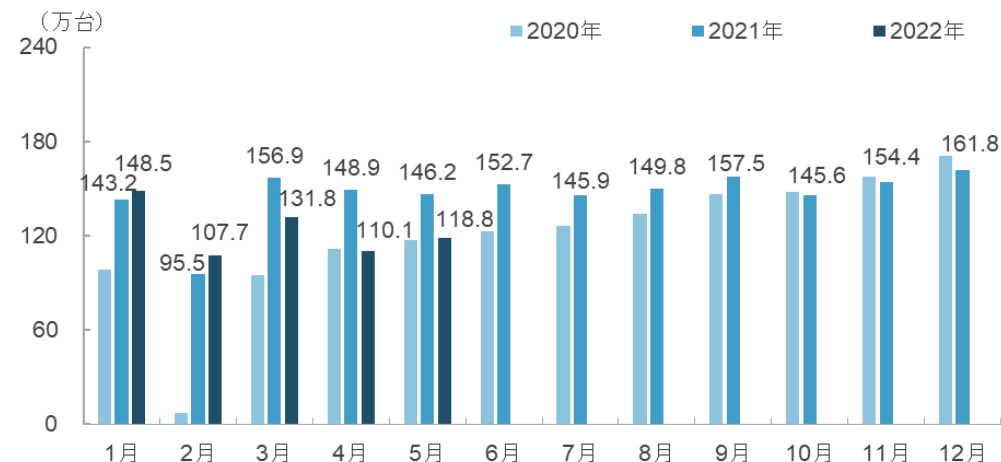
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

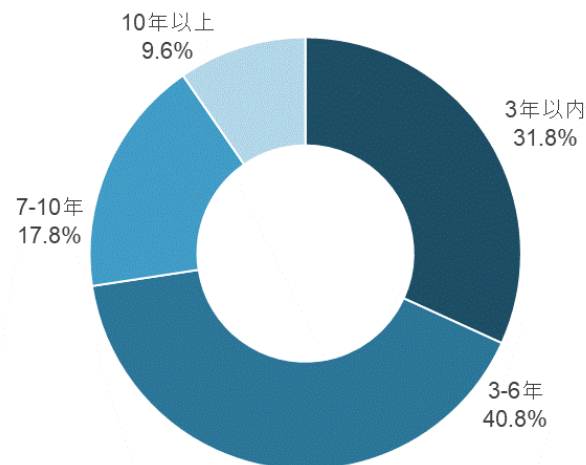
【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

- **中古車取引台数**: 2022年5月、中国中古車市場取引台数は前年同月比18.72%減、前月比7.98%増の118.84万台、取引額は825.56億元。セダン、SUV、MPVともに前年同月比減。2022年1-5月の累計取引台数は前年同期比10.69%減の616.86万台。6月は全国的にCovid-19の状況が落ち着くと見られ、取引も増加する見通し。
- **年数別**: 5月、年数別取引台数構成比では、3-6年が40.8%で最多。次いで3年以内が31.8%。
- **省間の流通状況**: 5月の中古車省間転籍台数は25.87万台、転籍率は前年同月比6.5pt低下の21.8%。

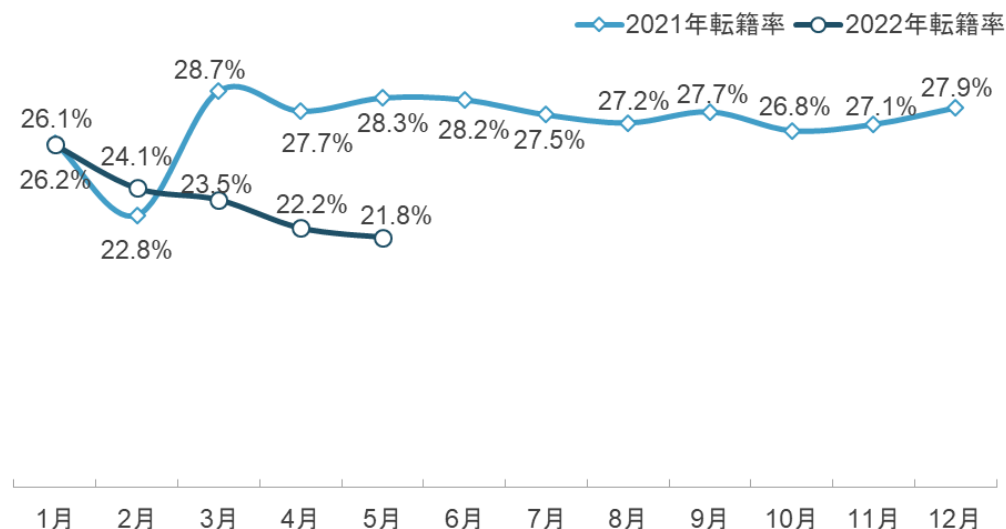
中古車月次取引台数(2020-2022)



中古車取引台数における車両年数構成比(2022年5月)



中古車の省間流通状況



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 購入刺激策

【中国自動車業界レポート(2022年5月)】

NEVの発展に注力

- 5月30日、財政部は『炭素排出ピークアウトとカーボンニュートラル任務に対する財政支援についての意見』を公布、支援対象となる任務の重点方向と領域を明確にした。
- NEVの発展を強化、電池充電交換インフラの支援策を整え、FCVの実証試験を着実に推進する。新エネ、クリーンエネルギー公用車と船舶の政府調達を強化する。

乗用車購入税を減額

- 5月31日、財政部、税務総局は『一部乗用車車両の購入税減額に関する公告』を発表、2022年6月1日から12月31日の期間に購入し、かつ1台あたりの価格(増値税は含まず)が30万元を下回る、排気量2.0L以下の乗用車について、車両購入税を10%から5%に減額する。

農村へのNEV普及策

- 5月31日、工業信息化部、農業農村部、商務部、国家能源局は連名で『2022NEVの農村普及活動の展開に関する通達』を発表。
- 活動期間は2022年5月-12月、一汽集団、東風汽車、長安汽車などメーカー26社のNEV計70モデルが対象。

ピックアップトラックの解禁、中古車の流通制限撤廃

- 5月31日、国務院は『経済安定のための一括政策措置の印刷発行に関する通達』を発表。「自動車・家電等大量消費の着実な増加」において、ピックアップトラックの都市への進入について精緻化管理を実施、進入規制の緩和について研究することを明確にした。
- また、商務部は中古車取引における不合理な規制の撤廃を急ぎ、中古車の省を跨る流通制限の全面的撤廃を確実に実施する。

出所: 工業信息化部の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性や完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。